

ビジュアルデザイン科

[2年制][3年制]

グラフィックデザインを中心に、写真や映像表現、イラストレーションなど視覚情報伝達のための技術や知識を幅広く学べるビジュアルデザイン科。あらゆるデザインに共通する基礎力をしっかりと積み上げて、実践的な学びへと展開していきます。また社会が抱える課題にクリエイティブな観点から取り組み、実践力を鍛えることができるのも大きな特徴です。

◆ BISEN Line 配当している科目の主なライン

- ◆ デザインライン
- ◆ 映像ライン
- ◆ イラストレーションライン

ピックアップ授業

グラフィックデザイン

実践的なグラフィックデザインのワークフローを学ぶ



「伝える」ということは、デザインにおいて重要な要素になります。そのため、この授業では論理性に重きを置き、グラフィックデザインの実務力を学んでいきます。授業では、実際にクライアントからオリエンテーションを受けるところからスタートします。その要望を整理して、求めているものは何かを考えます。そしてチームでのディスカッションを重ねて方向性を絞り込み、効果的なデザインを検討していきます。デザイン案は説得力のある企画書にまとめて、クライアントにプレゼンテーションを行います。提案したデザインが採用となったら、完成度を高めるためのブラッシュアップに取り組みます。

このような一連の流れからデザインの現場で必要となる実務力や、クライアントとのやりとりから実践的なビジネスマナーも身につけていきます。

(デザインライン主任講師 寺島 克己)



日本赤十字社長野赤十字病院のキービジュアルデザインで表彰を頂きました

6次デザイン

社会に活かせるデザインを、実際の体験を通し身につける



社会にはクリエイティブで解決できる問題が数多くあります。

6次デザインとは、机の上や頭だけで考えるのではなく、実際に現場に足を運び[1次]、さまざまな体験を通して社会の問題点や課題を見つけて[2次]、クリエイティブの力で解決していく[3次]、「体験型デザイン授業」です。この一連の流れを、足し算して出る数字を用いて[6次デザイン]と呼んでいます。

「地元のいいものをクリエイティブの力で情報発信する」というテーマでは、実際に信州の伝統野菜を生産している農家へ取材に行き[1次]、そこで体験して感じとった情報を魅力的に伝えられるデザインに落とし込んで[2次]、グラフィックや映像などで表現[3次]しました。

体験を通して自分の表現を考えることは、ビジュアルコミュニケーションのとても大切なことです。身近な社会が抱えている課題に対し、どうクリエイティブが関わるべきなのかを根本から学習していきます。

(デザインライン講師 轟 久志)



東京の渋谷ヒカリエにてファーマーズマーケットを開催

教育課程の特徴

2年制の特徴

卒業所要単位62単位の教育課程。修得可能単位数は最大86単位になります。文部科学省による「職業実践専門課程」に長野県でもいち早く認定を受け、かねてから行っていた企業等と連携した実践的な学びの質の高さが証明されました。卒業時に「専門士」の称号が付与されます。

3年制の特徴

卒業所要単位93単位の教育課程。修得可能単位数は最大116単位です。必修科目の履修の期間が広がり、修学にゆとりがあります。専門性の学びをさらに深め、そして広げることで進路を確かなものにしていきます。職業観を養う長期インターン「就職実践」もあり、より将来を見据えた学びができることが特徴です。3年制も「専門士」の称号が付与される学科です。

職業教育の質保証「職業実践専門課程」認定

職業において必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するために、企業や業界と連携した学びを提供する教育課程。本校のビジュアルデザイン科2年制は、初年度より文部科学大臣に認定を受けています。

内容と特色

デザインの基礎を習う

描写力をつけるデッサンの授業や、豊かな表現力を磨いていく授業、そしてデザイン特有の形成力を養う授業など、身体性が伴うアカデミックな造形学習を大切にしています。現代のようなICT(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)時代においてこそ、確かな基礎力の育成が不可欠だと考えています。

ものごとを成り立たせるデザインのあり方を学ぶ

表層を整えるスキルではなく、社会の産業や生活の実体験を通してデザインワークのあり方を学んでいきます。地域社会における仕事や暮らしの体験から成り立ちを学び、これからの地域や社会に広く求められるクリエイティブの役割を掴んでいきます。

多彩な表現方法を磨く

広告や販売促進に関わるグラフィックデザインはもとより、さまざまな媒体に展開されるイラストレーション、動画や写真といった幅広い映像表現に至るまで、専門的技術やその方法を学びます。土台となる基礎的な知識はもちろん、実践を通してスキルを身につけていきます。

3つの専門性から選んで専念する「ライン別ゼミ」ラインごとのスタジオスペースで落ち着いて自己のスキルを深めることができる学びの期間

ビジュアルデザイン科に配当されている「デザイン」「映像」「イラストレーション」の3つのゼミ科目から選んで履修します。

学びの流れ

基礎履修期間 (4月～7月)

ゼミ期間 (8月～10月)

総合制作期間 (11月～3月)

総合制作を目指した期間ごとの学びでステップUP!

1.基礎履修期間/さまざまな専門分野の基礎的な科目を履修することができます。履修する授業を選びながら、自分なりに伸ばしていきたい専門ラインを決めていきます。 2.ゼミ期間/それぞれの専門性に特化したライン別のゼミが展開されます。ビジュアルデザイン科では主に「デザインラインゼミ(1～3年次)」「映像ラインゼミ(2・3年次)」「イラストレーションラインゼミ(1～3年次)」の3つの中から選択します。ラインごとのスタジオ形式の授業で、専門性の学びを伸ばす期間です。 3.総合制作期間/年間の学びのまとめの期間。専門ラインごとの集大成となる制作に取り組み、年度末には総合制作展(美専展)で一般公開します。

ビジュアルデザイン科 カリキュラム(2年制・3年制)概略

講座種	科目区分	必修	科目名	配当年次
実技	デザイン	◎	グラフィックデザイン基礎A・B	1
		●	グラフィックデザイン基礎C	1
		●	グラフィックデザイン	2
		●	6次デザイン	2
		◎	デザインラインゼミA・B	1・2
		●	デザインラインゼミC	3
	イラストレーション	●	イラストレーション	2
		◎	イラストレーションラインゼミA・B	1・2
		●	イラストレーションラインゼミC	3
	映像	●	アニメ動画表現	2
		●	写真表現	2
		◎	映像ラインゼミB	2
●	映像ラインゼミC	3		
共通	◎	ビジュアル表現	1	
	◎	デッサン	1	
	◎	プロジェクトワーク演習	2	
	◎	総合制作1	1・2	
	◎	総合制作2	2・3	

※分かりやすさのため、一部の科目を省略しています。
※次年度のカリキュラム確定は前年度末に行うため、科目設定や配列が変更になる場合があります。

◎: 必修科目 ○: 選択必修科目 ●: 選択科目

講座種	科目区分	必修	科目名	配当年次
講義演習	専門	●	アート研究	2・3
		●	美術学習論	1
		●	美術学習論特講A・B・C	1～3
		●	色彩1	1
		◎	色彩2	1
		●	DTP理論	2
		●	映像理論	2
		●	映像理論	2・3
		◎	クリエイティブワーク総論A・B	1
		●	クリエイティブワーク総論C	3
		●	ディスプレイデザインA・B	2・3
		●	WEB理論	2・3
	●	キャラクター概論	1	
	●	ビジネスデザイン	2・3	
	●	モーショングラフィックス	2・3	
●	マンガ概論	1		
一般	◎	キャリア講座A・B	1・2	
	◎	プロジェクト考察	2	
	◎	キャリアアップ実習	2・3	
総合	◎	就職実践	3	
	◎	VDテーマ研究	3	
	◎	インターンシップVD	3	
	◎	プロモーションワークA・B	1～3	
	◎	プロモーションワークA・B	1～3	